

2008.6.17

テーブル設計ツール

dbLayoutPro Ver.1.0.x

操作ガイド

<http://onegland.hp.infoseek.co.jp/>
k_natchan@yahoo.co.jp

目次

dbLayoutPro とは	2
dbLayoutProの動作環境	3
1. dbLayoutProのインストール	4
2. dbLayoutProの画面	7
検索画面	8
A. テーブル検索機能	8
B. テーブルやデータベースの名前変更とコピー・削除機能	9
メイン画面	10
A. データベース情報（検索と新規作成）	10
B. テーブル情報（検索と新規作成）	11
C. インデックス情報	11
D. データ管理情報	11
E. フィールド情報	12
F. SQL作成・印刷・登録処理	13
3. dbLayoutProの環境設定	15
4. dbLayoutProのデータ共有と競合対策	16
データ共有とライセンスの関係	17
5. dbLayoutProの編集機能	18
①行編集	18
②置換（行編集メニュー）	18
③テーブル参照	19
6. ライセンスの取得と登録	20

dbLayoutPro とは

dbLayoutPro は Access,SQLServer,Oracle の各データベースのテーブルを作成するツールです。データベース定義、テーブル定義、フィールド定義を登録することでテーブル作成用 SQL 文を自動作成します。(Access の場合は直接 MDB ファイルを作成します)

さらに定義内容を帳票(A4 縦または横)に出力することができます。

データはネットワーク共有し複数ユーザーで利用可能です。(注1)

The screenshot shows the dbLayoutPro software interface. It includes sections for 'データベース情報' (Database Information), 'テーブル情報' (Table Information), 'フィールド情報' (Field Information), and 'インデックス情報' (Index Information). A table lists fields with columns for '行No.' (Line No.), '項目名' (Item Name), 'フィールド名' (Field Name), 'データ型' (Data Type), 'サイズ' (Size), '小数桁' (Decimal Digits), '初期値' (Initial Value), 'NULL', 'PrKey', 'Key1', 'Key2', 'Key3', 'Key4', 'Key5', and '備考' (Remarks).

行No.	項目名	フィールド名	データ型	サイズ	小数桁	初期値	NULL	PrKey	Key1	Key2	Key3	Key4	Key5	備考
1	伝票種別	SHUBETSU	number	1	0	0	<input type="checkbox"/>	1						0: 売上 1: 入金
2	採番NA	SAIBANNA	varchar2	3	0	''	<input type="checkbox"/>	2						
3	伝票番号	DENPYONO	number	8	0	0	<input type="checkbox"/>	3						
4	伝票行番号	DENPYOGYO	number	2	0	0	<input type="checkbox"/>	4						
5	伝票区分	DENKBN	number	2	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							0: 売上 1: 売上引
6	出荷区分	SHUKAKBN	number	1	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							0: 通常 1: 直送
7	受注日付	ZYUCHUYMD	number	8	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							
8	出荷日付	SHUKAYMD	number	8	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							売上の場合、売上引
9	売上入金日付	URINYUYMD	number	8	0	0	<input type="checkbox"/>		3	2				
10	請求基準日付	SEIKIYMD	number	8	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>					2		
11	在庫年月	ZAIYM	number	6	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							
12	売上入金年月	URIYM	number	6	0	0	<input type="checkbox"/>		1					
13	売上部門コード	USSOSHIKI	varchar2	8	0	''	<input checked="" type="checkbox"/>							(未使用)
14	得意先コード	TOKUIDC	varchar2	10	0	''	<input type="checkbox"/>			1				
15	請求先コード	SEIKYUCD	varchar2	10	0	''	<input type="checkbox"/>		2		1			
16	納入先コード	NONYUCD	varchar2	10	0	''	<input checked="" type="checkbox"/>							
17	担当者コード	TANTOCD	varchar2	7	0	''	<input checked="" type="checkbox"/>							
18	相手先伝票番号	AITE DENNO	varchar2	12	0	''	<input checked="" type="checkbox"/>							未使用
19	税算出区分	ZEICMPKBN	number	1	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							1: 明細 2: 伝票引
20	税率ランク	ZEILANK	number	1	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							0: 出荷時 1: 受注
21	売上計上区分	KEIZYOKBN	number	1	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							0: 未 1: 消 (未使用)
22	受納済区分	ZURYOKBN	number	1	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							4桁目は小分類とし
23	取引区分	TORIKBN	number	4	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							
24	倉庫コード	SOUKOC	varchar2	4	0	''	<input checked="" type="checkbox"/>							
25	受注時納期	ZYNOUKIYMD	number	8	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							
26	商品コード	HINCD	varchar2	18	0	''	<input checked="" type="checkbox"/>							
27	商品名	HINNM	varchar2	32	0	''	<input checked="" type="checkbox"/>							
28	荷室区分	SHIGATAKRN	number	1	0	0	<input checked="" type="checkbox"/>							0: バラ 1: 箱

The screenshot shows the 'レコードレイアウト' (Record Layout) window. It displays a table with columns for 'No.', '項目名', 'フィールド名', 'データ型', 'サイズ', '小数桁', '初期値', 'NULL', 'PrKey', 'Key1', 'Key2', 'Key3', 'Key4', 'Key5', and '備考'. The table content is identical to the one shown in the main screenshot.

The screenshot shows the 'レコードレイアウト' (Record Layout) window. It displays a table with columns for 'No.', '項目名', 'フィールド名', 'データ型', 'サイズ', '小数桁', '初期値', 'NULL', 'PrKey', 'Key1', 'Key2', 'Key3', 'Key4', 'Key5', and '備考'. The table content is identical to the one shown in the main screenshot.

注1 : 利用する PC 毎にライセンスが必要です。(試用中は見本として 2 台共有が可能)

dbLayoutPro の動作環境

管理者権限のあるユーザーでログインしてからインストールを行います。

動作可能な OS は以下の通りです。

- ① Windows Vista(各エディション)
- ② Windows Server 2008
- ③ Windows XP(Home/Professional)
- ④ Windows Server 2003
- ⑤ Windows2000(Professional/Server)

※ 上記以外の OS では、たとえインストールできたとしても動作は保障されません。
またサポート対象外です。

必要解像度は 1024×768 以上でこれより小さい画面では起動できません。

また、プリンタがインストールされていないと起動できません。

補足事項：

Windows2000 で利用する場合 Access の MDB ファイル作成時にエラーが起きることがあります。
その場合は Microsoft Data Access Components (MDAC) をダウンロードして最新版にアップデートしてください。現在最新版は 2.8 です。

ダウンロードサイト：<http://www.microsoft.com/japan/msdn/data/download.aspx>

dbLayoutPro の開発動機

「dbLayoutPro」の Pro という部分はシェアウェア化するために拡張されたことを表します。これはつまり「dbLayout」というフリーソフトがあったのではという話にもなりますが、実際はフリーソフトとして公開したものはなく、もともと仕事でどうしても必要になって作ったものが前身(dbLayout)であるという話なのです。かれこれ6年以上も前のことでデータベースを使うシステムの設計にはなくてはならないツールでした。

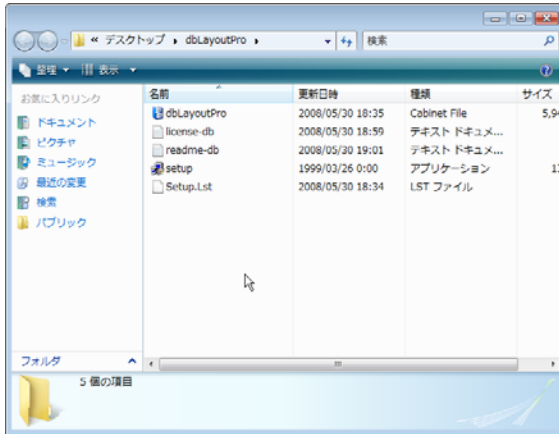
以前は Excel で作ったフィールド構成表(レコードレイアウト)を雛形に毎回入力しプリントアウトしていました。これは Access をデータベースに使っているうちは特に不便を感じなかったのですが、SQLServer や Oracle を使うようになってテーブル作成用の SQL 文にフィールド名をもう一度手入力する必要がありました。これは規模が大きくなればなるほど面倒で、時間の無駄としか思えなかったのです。Excel から SQL 文を出力する方法もありますが Excel だとファイルの管理が別に増えてしまいます。そこでデータベースで一元管理する方法を考えるようになったのです。こういう経緯もあって職場の dbLayout では未だに Access の MDB 作成機能がありません。

シェアウェア化するにあたり最も重視したのはエラー対策と操作性でした。自分では許せてもユーザーに我慢してとは言えませんから(笑)。お陰で Pro という名に相応しいツールに仕上がったと自負しています。

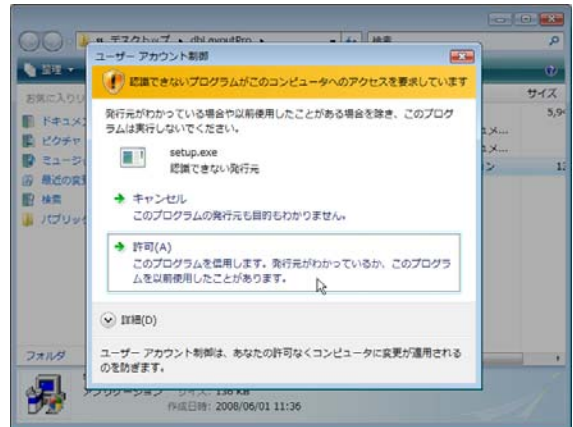
1. dbLayoutPro のインストール

Windows Vista(Business)でのインストールの流れを説明。他の OS でもほぼ同じです。

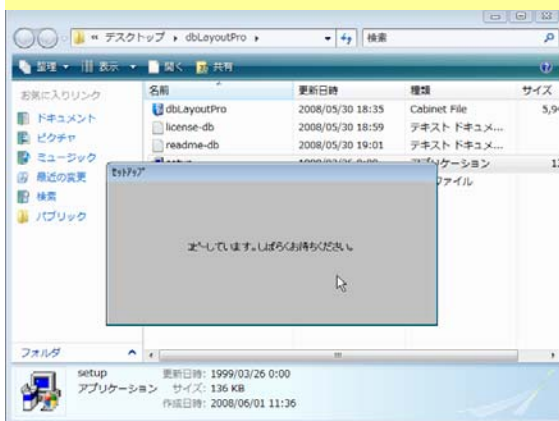
1. ダウンロードしたファイルを解凍し、
setup.exe をダブルクリック。



2. Vista の場合 UAC(ユーザーアカウント制御)が有効になっていると「許可」を選択して進みます。



3. セットアッププログラムが起動。



4. 画面が現れたら「OK」をクリック。

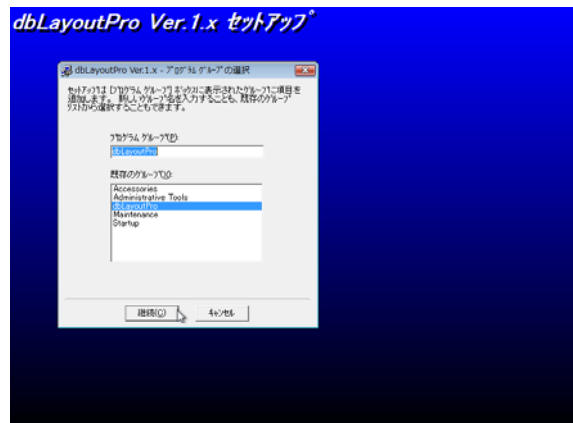


5. インストール先(フォルダ)の変更はここで行います。(注意)
アイコンボタンをクリックして開始。

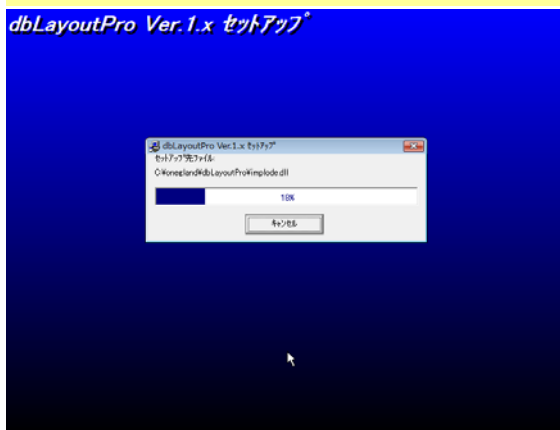


注意：Vista、2008 以降の OS では「Program Files」フォルダを指定しないでください。

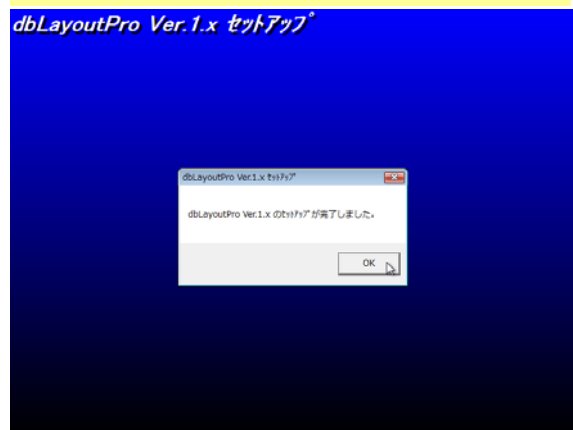
6. プログラムメニューに登録。「継続」をクリック。



7. プログラムファイルの転送。



8. 以上でセットアップ完了。

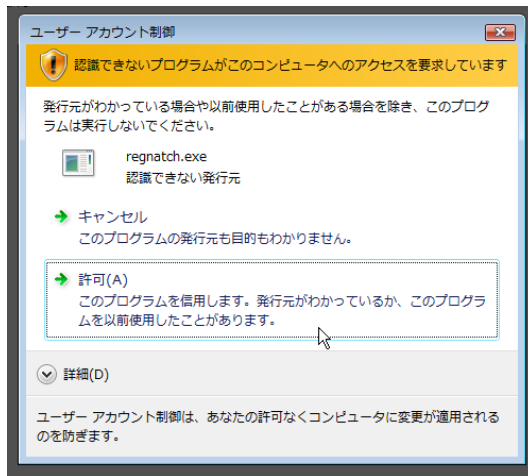


- インストールされたプログラムはスタートメニューから起動します。
「すべてのプログラム」 → 「dbLayoutPro」フォルダ → 「dbLayoutPro」



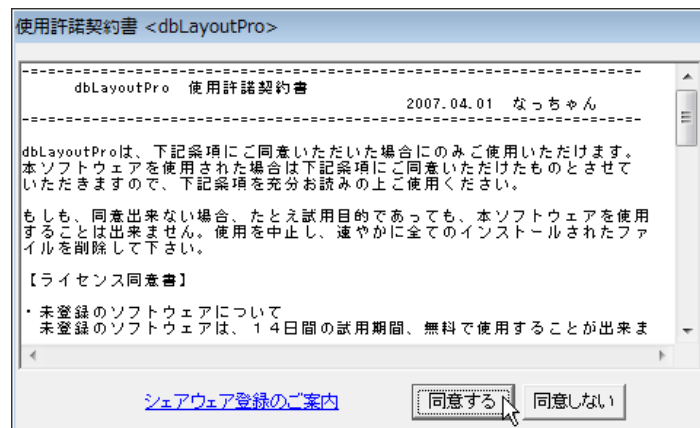
★ライセンスに関する情報の取得・更新

Windows Vista や WindowsServer2008 の場合、ライセンスに関する情報の取得・更新には UAC(ユーザーアカウント制御)のダイアログが表示することがあります。(下図)



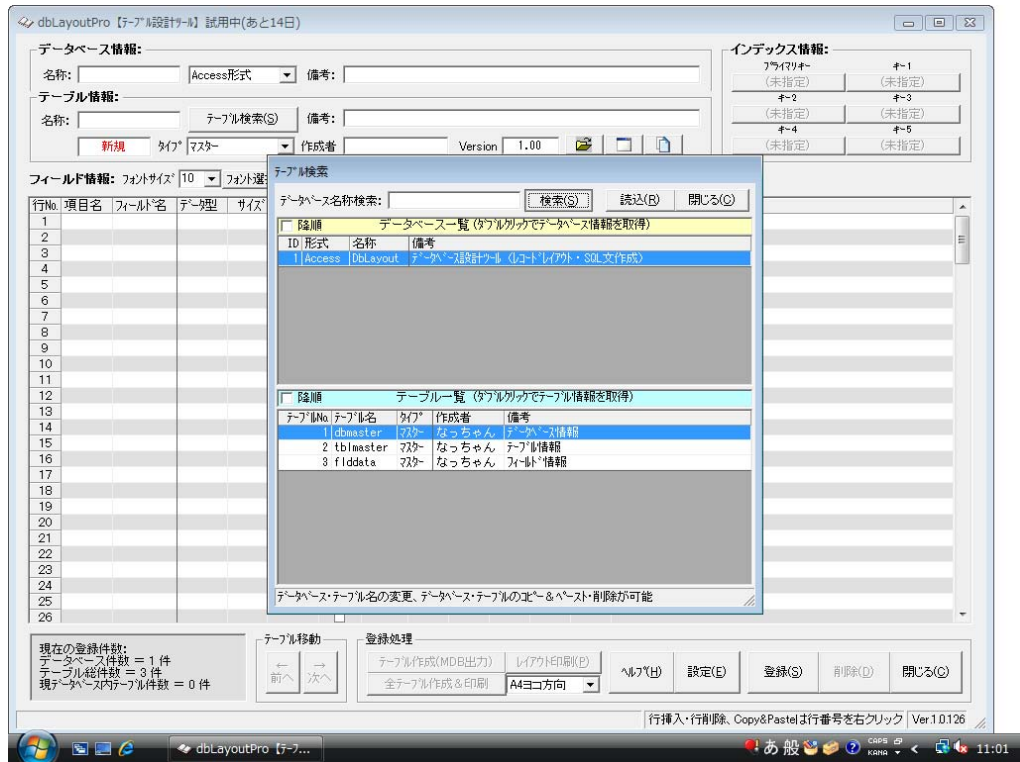
■使用許諾契約書の表示

dbLayoutPro を使用するには「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。そして 14 日間の試用が可能です。試用期間以後も継続して使用するためには、所定のライセンス料をお支払いいただく必要があります。「シェアウェア登録のご案内」のリンク先にお申し込みフォームがあります。

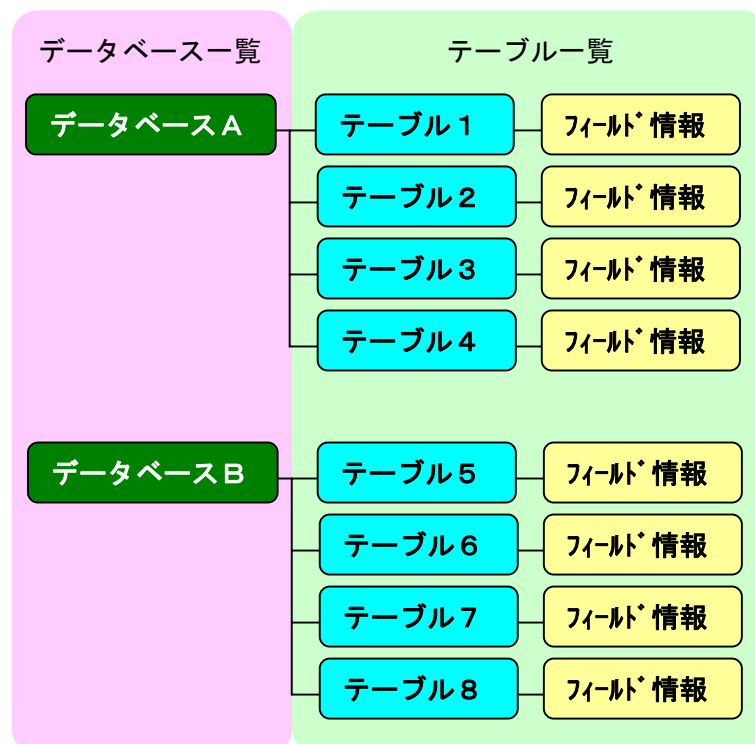


2. dbLayoutPro の画面

dbLayoutPro 起動直後の画面



dbLayoutPro はデータベースのテーブル単位に管理されます。
また複数のテーブルを持つデータベースをグループとして扱います。



検索画面

A. テーブル検索機能

dbLayoutPro 起動時にはメイン画面と一緒に「テーブル検索」フォームが表示します。ここで編集するテーブルを選択します。この検索画面では検索以外にもいろんな処理を行うことができます（次頁参照）。

データベース一覧、テーブル一覧共にデータが増えてきたとき最新データを先頭に表示できるように「降順」チェックボックスが用意されています。

インストール時にはdbLayoutPro が実際にデータを格納しているdblayout.mdb (ACCESS)の定義情報がサンプルとして登録されています。

データベース一覧からデータベースを選択すると、そのデータベースに含まれるテーブル一覧が表示されます。テーブル一覧からテーブルをダブルクリックするか、選択後「読込」ボタンをクリックするとメイン画面にテーブル定義(フィールド情報)が表示されます。

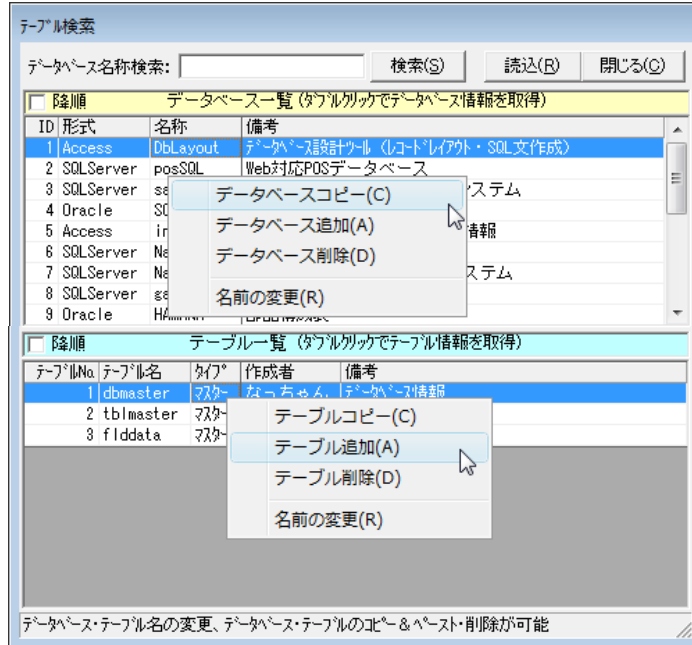
「テーブル検索」はメイン画面のテーブル情報欄の「テーブル検索」ボタンをクリックすると再表示します。(下図)

行No.	項目名	フィールド名	データ型	サイズ	初期値	NULL	PrKey	Key1	Key2	Key3	Key4	Key5	備考
1	データベースID	id	auto	4	0	<input type="checkbox"/>	1						tbl
2	データベースタイプ	typ	short	2	0	<input type="checkbox"/>							0=A

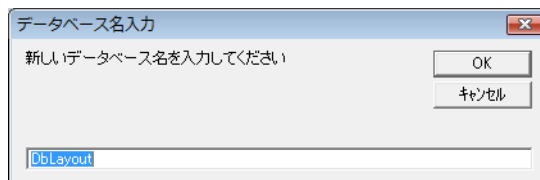
※テーブル名称の▼をクリックすると同じデータベースにある他のテーブルを呼び出すことができます。

B. テーブルやデータベースの名前変更とコピー・削除機能

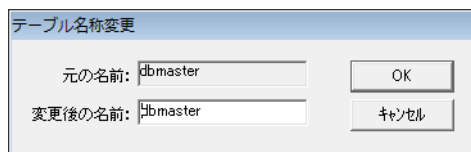
データベース一覧やテーブル一覧で選択したあと右クリックするとメニューが表示されます。(下図：2つのメニューは合成したものです)



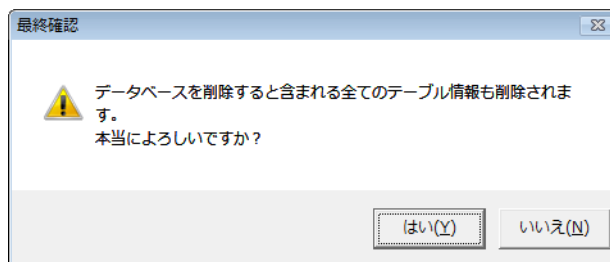
コピーしたあと「追加」をクリックすると新しいデータベース・テーブルの名前を入力します。同名でも登録可能。



名称変更の入力画面。



データベースの削除では、**関連する全テーブルを削除**します。



メイン画面

下図のように大きく6つのブロックで構成されている。

The screenshot shows the main interface of dbLayoutPro, divided into six main sections:

- A. データベース情報**: Database information panel with fields for name (DbLayout), access format (Access形式), and remarks.
- B. テーブル情報**: Table information panel with fields for name (dbmaster), search, and creator.
- C. インデックス情報**: Index information panel with fields for priority key and index name.
- E. フィールド情報**: Field information table with columns for field name, type, size, initial value, NULL, primary key, and keys.
- D. データ管理情報**: Data management panel showing current registration count and table count.
- F. SQL作成・印刷・登録処理**: SQL generation, printing, and registration processing panel with buttons for table creation, printing, and registration.

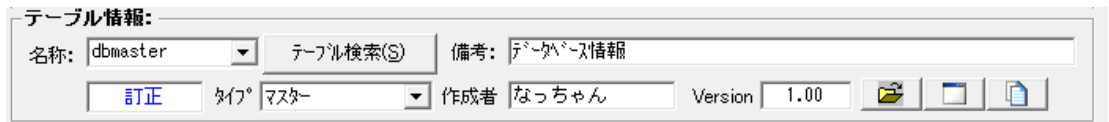
行No.	項目名	フィールド名	テーブル型	サイズ	初期値	NULL	PrKey	Key1	Key2	Key3	Key4	Key5	備考
1	データベースID	id	auto	4	0	<input type="checkbox"/>	1						tblmasterのIDとリンク
2	データベースタイプ	typ	short	2	0	<input type="checkbox"/>							0=Access,1=SQLServer,2=Oracle
3	データベース名称	name	text	16	''	<input type="checkbox"/>							
4	備考	biko	text	128	''	<input type="checkbox"/>							
5	作成日時	mkday	date	8	0	<input type="checkbox"/>							
6	更新日時	upday	date	8	0	<input type="checkbox"/>							
7						<input type="checkbox"/>							
8						<input type="checkbox"/>							
9						<input type="checkbox"/>							
10						<input type="checkbox"/>							
11						<input type="checkbox"/>							
12						<input type="checkbox"/>							
13						<input type="checkbox"/>							
14						<input type="checkbox"/>							
15						<input type="checkbox"/>							
16						<input type="checkbox"/>							
17						<input type="checkbox"/>							
18						<input type="checkbox"/>							
19						<input type="checkbox"/>							
20						<input type="checkbox"/>							
21						<input type="checkbox"/>							
22						<input type="checkbox"/>							
23						<input type="checkbox"/>							
24						<input type="checkbox"/>							
25						<input type="checkbox"/>							
26						<input type="checkbox"/>							
27						<input type="checkbox"/>							
28						<input type="checkbox"/>							
29						<input type="checkbox"/>							

A. データベース情報（検索と新規作成）

データベース情報:
名称: DbLayout Access形式: Access形式 備考: データベース設計ツール (レポートアウト・SQL文作成)

名称にはデータベース名（新規・呼出）を入力。既に登録済みのデータベース名を入力するとそのデータが呼び出される。未登録の場合、新規データベース作成となり、隣のデータベース形式が選択できる。データベース形式によりフィールド情報の構成が切り替わる。なお、一度作成(登録)されたデータベース形式を変更することはできない。備考欄はデータベースの覚え書きとして登録。

B. テーブル情報（検索と新規作成）



名称にはテーブル名を入力（新規・呼出）。既に登録済みのテーブル名を入力するか、コンボボックスから選択するとデータが呼び出される。**未登録の場合、新規テーブル作成。**

「テーブル検索」ボタンから一覧表を表示することも可。名称の下に「**新規**」「**訂正**」と編集状態を表示。

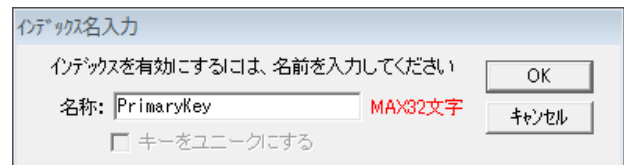
タイプはテーブルの用途として「マスター」「トランザクション」「ワーク(作業用)」を指定できる。この区別は便宜上のもので特に意味はないが、検索画面のテーブル一覧はマスター、トランザクション・ワークの順にソートされる。

備考欄はテーブル情報の覚え書き。作成者および Version はテーブル単位に管理される。

アイコンボタンは左から、

- ① 作成された SQL 文や mdb ファイルを参照するためのエクスプローラが開く
- ② 環境設定でデータベース形式毎に指定されたツールを起動する
- ③ テーブル一覧表示（検索画面と違い他のテーブルのフィールド情報をコピーして利用するためのもの）

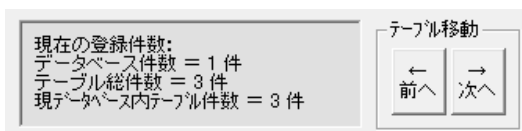
C. インデックス情報



dbLayoutPro ではテーブルに最大6つのインデックス(プライマリキー含む)を作成できます。フィールド情報の KEY 項目でインデックスを構成するフィールドにキー順位を指定すると自動的にインデックス名が割り当てられます。インデックス情報はこの名前を変更したり、ユニークキーに指示したりします。

「Index 表示数」でフィールド情報のインデックス項目を非表示にすることができます。

D. データ管理情報



dbLayoutPro で作成された全データベース・全テーブルの総件数を表示。

また、現在編集集中のデータベースで管理されているテーブル数も表示し、「テーブル移動」ボタンでその範囲を前後に移動することができます。

E. フィールド情報

データベース形式によってフィールド情報の一部(データ型)が異なります。

①Access の場合

行No.	項目名	フィールド名	データ型	サイズ	初期値	NULL	PrKey	Key1	Key2	Key3	Key4	Key5	備考
1	テーブルID	id	long	4	0			1					dbmasterのIDとリンク
2	テーブルID	tno	boolean	4	0		3						テーブルID
3	テーブル通し番号	rno	byte	2	0			2					db内の順番
4	テーブルタイプ	typ	short	2	0		2						0=マスター,1=トラジャ'クヨソ,2=作業用
5	テーブル名	namae	long	3	''								
6	テーブルキー名	index0	single	3	''								
7	キー1名	index1	double	3	''								
8	キー2名	index2	currency	3	''								
9	キー3名	index3	date	3	''								
10	キー4名	index4	text	3	''								
11	キー5名	index5	oleobject	3	''								
12	作成者	tanto	text	16	''								
13	作成日時	mkday	date	8	0								
14	更新日時	upday	date	8	0								
15	備考	biko	text	128	''								
16	バージョンNo.	verno	single	4	0								
17													
18													

②SQLServer の場合 (AutoNo 項目が追加)

行No.	項目名	フィールド名	データ型	サイズ	小数桁	初期値	NULL	AutoNo	PrKey	Key1	Key2	Key3	Key4	Key5	備考
1	店舗No.	miseid	smallint	2	0	0		1-1	1	1					
2	予約日付	yoyakuday	smallint	0	0	0			2	2					
3	予約時刻	yoyakutime	tinyint	0	0	0			3						
4	予約タイプ	yoyakutp	decimal	0	0	0			4						予約タイプ(0=予約,1=予約名)
5	予約名	yoyaku	money	0	''				5						
6	団体名	groupname	float	0	''				6						
7	幹事名	daihyo	real	0	''										
8	人数	cnt	datetime	0	0	0									
9	電話番号	tel	smalldatetime	0	''										
10	料理単価	tanka	char	0	0	0									
11	予想売上	uriyoso	varchar	0	0	0									
12	受付者	tanto	nchar	0	''										
13	確認フラグ	okflg	nvarchar	0	0	0									0=未確認,1=確認済
14	キャンセルフラグ	cancelflg	smallint	2	0	0									0=有効,1=キャンセル
15	登録日時	makeday	datetime	8	0	0				3					初回登録時(変更不可)
16															
17															
18															

IDENTITYの指定

有効にする

IDENTITYの増分(初期値):

IDENTITYの増分(増分):

OK(O) キャンセル(C)

③Oracle の場合 (※Oracle 用情報はデータベース情報の一部です)

行No.	項目名	フィールド名	データ型	サイズ	小数桁	初期値	NULL	PrKey	Key1	Key2	Key3	Key4	Key5	備考
1	生産者コード	商品群コード	varchar	7	0	0			1					
2	商品名称	商品単価	number	10	0	0				2				
3	6:00代	RP_600_S	date	12	0	0								数量6時代の集計
4	7:00代	RP_700_S	timestamp	12	0	0								数量7時代の集計
5	8:00代	RP_800_S	char	12	0	0								数量8時代の集計
6	9:00代	RP_900_S	varchar2	12	0	0								数量9時代の集計
7	10:00代	RP_100_S	long raw	12	0	0								数量10時代の集計
8	11:00代	RP_1100_S	blob	12	0	0								数量11時代の集計
9	12:00代	RP_1200_S	number	12	0	0								数量12時代の集計
10	13:00代	RP_1300_S	number	12	0	0								数量13時代の集計
11	14:00代	RP_1400_S	number	12	0	0								数量14時代の集計
12	15:00代	RP_1500_S	number	12	0	0								数量15時代の集計
13	16:00代	RP_1600_S	number	12	0	0								数量16時代の集計
14	17:00以後	RP_1700_S	number	12	0	0								数量17時以後の集計
15	合計	RP_GOKU_S	number	12	0	0								数量の合計
16	6:00代	RP_600_K	number	12	0	0								金額6時代の集計
17	7:00代	RP_700_K	number	12	0	0								金額7時代の集計
18	8:00代	RP_800_K	number	12	0	0								金額8時代の集計

※ Oracle の場合、任意のデータ型を 3 つ追加することが可能です。(環境設定)

F. SQL 作成・印刷・登録処理



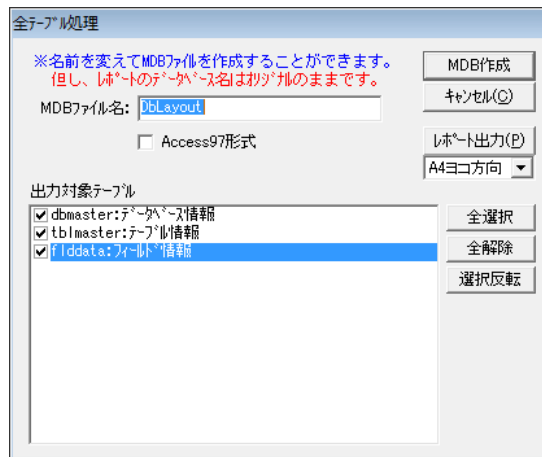
テーブル作成 (SQL 出力)

Access の場合は SQL 文の作成ではなく MDB ファイルの作成になります。

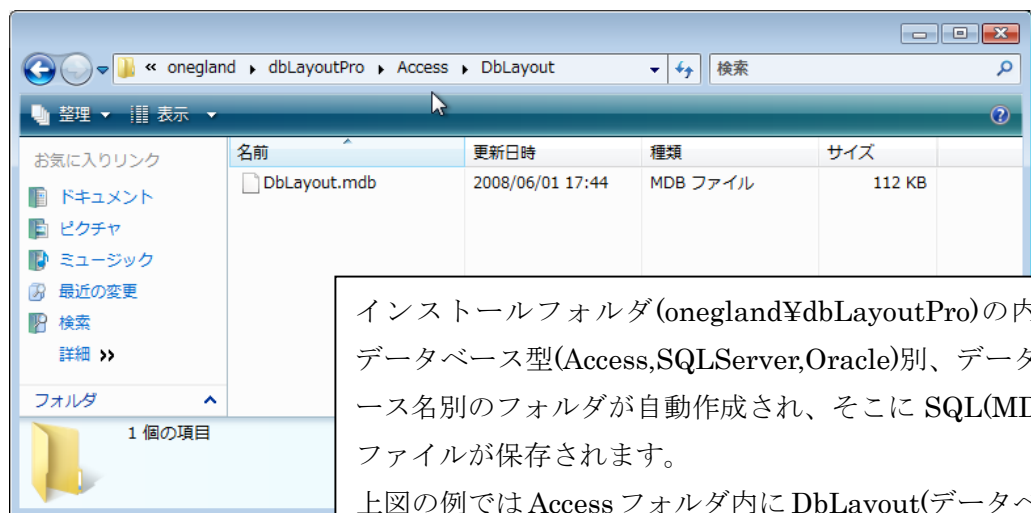
全テーブル作成 & 印刷

同一データベースに含まれる全テーブルを一括で処理するものです。

必要に応じて取捨選択できます。(下図)



作成された SQL(MDB)は規定のフォルダ内に保存されます。



レイアウト印刷

A4 のヨコとタテの 2 つを選択できます。下図のプレビュー画面が表示。
A4 タテの場合インデックスが 3 つまでしか印字しません。



「登録」・「削除」は現在編集集中のテーブルに対してです。
「設定」は次ページで解説します。

3. dbLayoutPro の環境設定

dbLayoutPro のデータファイルはインストールフォルダから任意のフォルダに変更できます。ネットワーク共有フォルダを使えば複数のユーザーとデータの一元化が可能です。(注1)

関連アプリケーションはdbLayoutProで作成したSQLを実行するために各データベース毎に好みのツールを登録しておきます。Access用であればAccess本体プログラム、SQLServer用であればエンタープライズマネージャやクエリアナライザー、Oracle用であればSQL Plusなどのツールを指定すると便利です。

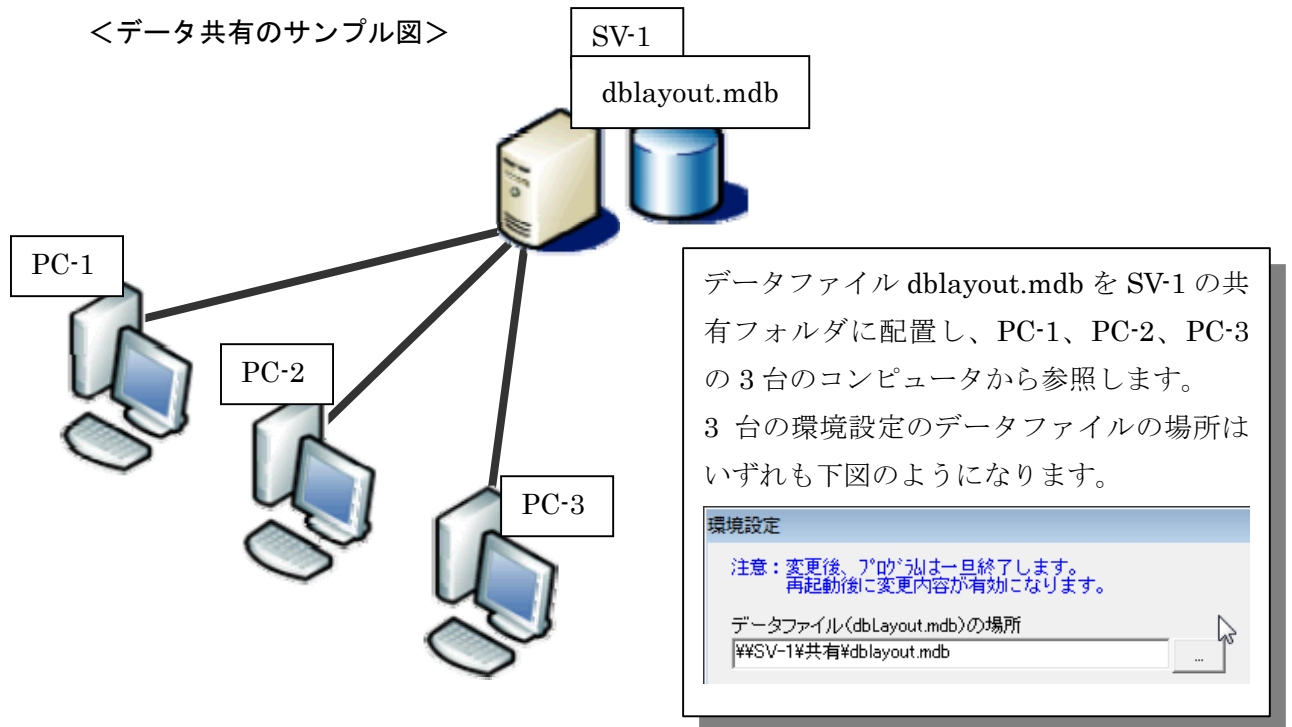
「DB型初期値」はフィールド情報を入力する際、データ型を選択したときに自動的にセットされるデータ型の初期サイズを設定します。

Oracleでは、任意のデータ型を3つまで登録することができます。

注)「データ型設定」以外の設定内容はPC毎に管理されますが、データ型のサイズ初期値はデータファイルを共有するPC全てに影響します。

注1：利用するPC毎にライセンスが必要です。(試用中は見本として2台共有が可能)

4. dbLayoutPro のデータ共有と競合対策



※試用期間中は動作確認のため 2 台まで共有データを利用できます。

データを共有した場合、同時に同じテーブルを編集する可能性があります。
dbLayoutPro ではテーブル毎に保持された更新日時をチェックしています。
登録時の流れは次のようになります。

(例)

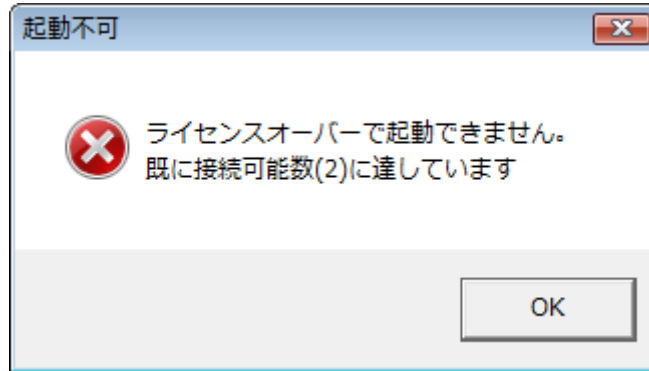
- PC-1 がテーブル「HOGE」を開きました。この時「HOGE」の更新日時を取得します。
- 次に PC-2 が同じ「HOGE」を開きました。同様に「HOGE」の更新日時を取得します。
- 先に PC-2 がデータを変更して「登録」ボタンをクリックしました。この時に再び更新日時を確認します。読み込み時の更新日時と同じなので誰も編集していないと判定して保存処理を行います。保存時の日時を新たな更新日時として登録します。
- その後で PC-1 がデータを変更して「登録」ボタンをクリックしました。この時に更新日時を確認したところ、読み込み時の日時と違っているのを確認したので「テーブルデータを読み込んだ以降に別のユーザーが更新処理を行っています。このまま続行しても良いですか？」と確認メッセージを出します。

削除の場合は上記のようなチェックは行いません。ただ、別のユーザーによって削除されても編集中のデータがあればそれを登録(新規)することができます。

データ共有とライセンスの関係

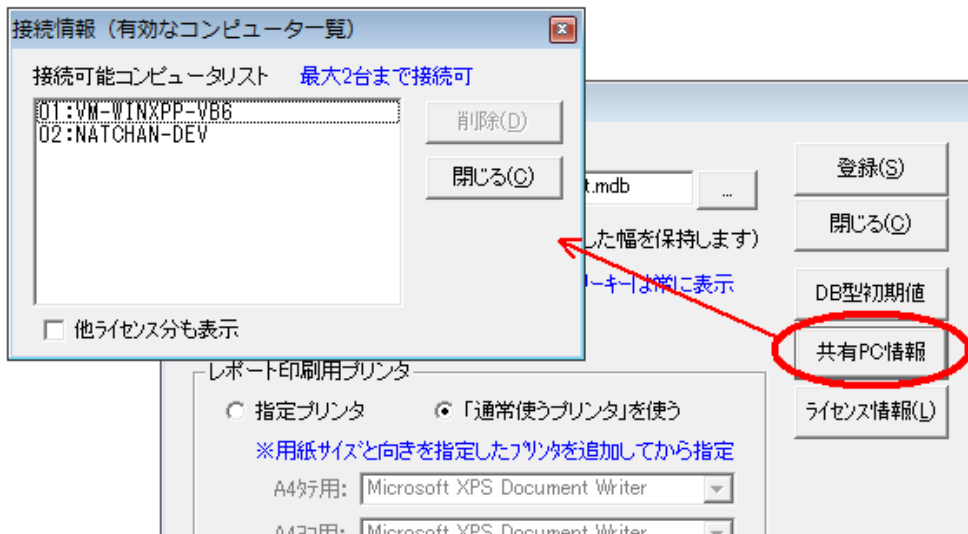
共有データはライセンスの範囲内の PC でしか参照できません。

ライセンスを超えて参照しようとするとう起動時に警告ダイアログが表示されます。(下図)



「OK」をクリックすると設定画面が表示されます。「共有 PC 情報」をクリックすると、既に共有している PC の一覧が表示されます。

この場合、既存の PC を削除するか、新たにライセンスを購入して下さい。



5. dbLayoutPro の編集機能

システムの規模により多くのフィールド数を持つテーブルを作成することがあります。
dbLayoutPro では効率良く入力作業ができるように様々な編集機能があります。

①行編集

行No.	項目名	フィールド名	データ型	サイズ	初期値
1	テーブルID	id	long	4	0
2	テーブルID	tno	auto	4	0
3	テーブル通し番号	rno	short	2	0
4			short	2	0
5	行挿入		text	16	''
6	行削除		text	16	''
7			text	16	''
8	行切り取り		text	16	''
9			text	16	''
10	行コピー		text	16	''
11	行貼り付け(挿入)		text	16	''
12	行貼り付け(上書)		text	16	''
13			date	8	0
14	置換(R)		date	8	0
15			text	128	''
16			single	4	0

行の上をマウスでクリックするとその行が選択状態になります。

Shift キーを押して連続した行を選択したり、Ctrl キーを押して任意の行を選択できます。

選択された状態で行 No 右クリックすると左図のように行編集メニューが表示します。

- ◇ 行挿入・・・選択した行の前に指定数の空行を挿入します。
- ◇ 行削除・・・選択した行(複数行)を削除します。
- ◇ 行切り取り・・・行削除とことなり、切り取った行は貼り付け可能です。
- ◇ 行コピー・・・貼り付け用に選択された行(複数行)をコピーします。
- ◇ 行貼り付け・・・「行切り取り」や「行コピー」によってメモリに保持した行データを貼り付けします。

【挿入モード】：選択した行の前に貼り付けられる行数分の空きを挿入して貼り付けられます。

【上書モード】：選択した行から貼り付けられる行数分まで上書きして貼り付けられます。

②置換（行編集メニュー）

似たようなテーブルを作成するとき、元になるテーブルをコピー(別ページで解説)したあとで名前の一部を変更したい場合に文字列の置換を使うと楽なことがあります。

置換が使えるのは「項目名」「フィールド名」「備考」の3つです。

選択行だけを置換したり、全行を置換したりできます。

※置換文字列を空白にすると検索文字列を削除します。

置換 【項目名】【フィールド名】【備考】

選択行のみ 全行一括

実行 キャンセル

項目名を置換

検索文字列
テーブル名称

置換文字列 ↓

フィールド名を置換

検索文字列
nameae

置換文字列 ↓

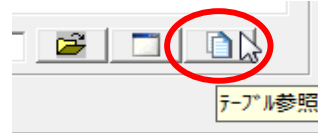
備考を置換

検索文字列

置換文字列 ↓

③テーブル参照

テーブル情報の3つ並んだアイコンの右端が「テーブル参照」ボタンです。(右図)



これをクリックすると、別ウィンドウでテーブル毎のフィールド情報を参照することができます。これは、フィールド情報を作成するときに他のテーブルの内容を参考にしたり、フィールド情報をコピーして再利用するときに使います。

現在の登録件数:
データベース件数 = 1 件
テーブル総件数 = 3 件
現在データベース内テーブル件数 = 3 件

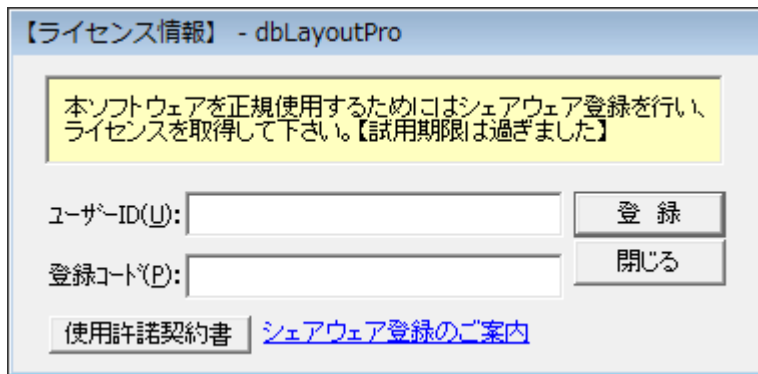
行No	項目名	フィールド名	データ型	長さ	デフォルト値	インデックス	参照	備考
1	データベースID	id	long	4	0			dbmasterのIDとリンク
2	テーブルID	tno	auto	2	0		3	テーブルID
3	テーブル通し番号	rno	short	2	0		2	db内の順番
4	テーブルタイプ	typ	short	2	0		2	0=マスター、1=トランザクション、2=
5	テーブル名称	naeae	text	32	''			
6	プライマリキー名	index0	text	32	''			
7	キー1名	index1	text	32	''			
8	ユニーク1	unique1	short	2	0			0=off,1=on
9	キー2名	index2	text	32	''			
10	ユニーク2	unique2	short	2	0			0=off,1=on
11	キー3名	index3	text	32	''			
12	ユニーク3	unique3	short	2	0			0=off,1=on
13	キー4名	index4	text	32	''			
14	ユニーク4	unique4	short	2	0			0=off,1=on
15	キー5名	index5	text	32	''			
16	ユニーク5	unique5	short	2	0			0=off,1=on
17	作成者	tanto	text	18	''			
18	作成日時	mkday	date	8	0			
19	更新日時	upday	date	8	0			
20	備考	biko	text	128	''			
21	バージョンNo	verno	single	4	0			

行選択した情報を取得(コピー)して、メイン画面に貼り付けることができます。

参照しているフィールドデータはメイン画面のフィールドと同じように選択しコピーできます。それをメイン画面のフィールド情報に貼り付けることができます。

6. ライセンスの取得と登録

試用期限を過ぎると、起動時にライセンス情報の入力画面が表示されます。(下図)



「シェアウェア登録のご案内」 <http://onegland.hp.infoseek.co.jp/share.htm>

からお申込みしてライセンスを取得してください。

取得されたユーザーID と登録コードを入力することで、試用版から正規版になります。

試用期限以内にライセンス登録する場合は、設定画面またはヘルプ画面を開いて

「ライセンス情報」をクリックします。(下図)

